



ぎふの街 ウィーンウィーンの如く おとたの音楽し 作:音楽総監督 平光 保

## なかなか不器用で

岐阜 テナー

水野 雄二

ずいぶん以前に、ウィーンさんで歌っていたことがあります。

当時は自分の声にそれなりに満足していましたし、定期演奏会にも立つつもりでいました。ところが北京に遊びに行っ

て帰ってきたら、インフルエンザを発症し、結構、きつい症状となりました。一緒に行った男性のメンバーは全員発症しましたので、北京で罹患したものと思います。

私は気管も弱いこともあって、しつこい咳に悩まされることとなります。いつまで経っても治らないこともあり、ステージの上でコンコンばかりしているわけにはいかないだろうと思い、間際になってステージに立つことを断念しました。

その後も咳は続きましたので、ウィーン岐阜合唱団さんから離れていきました。咳が何とか落ち着いてからは、3,000人の第九やマーラーの復活に参加しましたが、そのあとは合唱からは遠のいていました。

久々に見田村さんに誘われて練習に参加していますが、長い間歌っていないこと、

マスク生活が長かったことが影響しているのでしょうか、中音域で声がかすれるなど、思い通りにならない自分の声に苦しみを感じながら、立て直しを図っています。

大学時代は100人規模の男声合唱団に所属していました。私の同期には、「ぞうれっしゃがやってきた」を作曲した藤村記一郎がいます。

彼は学生指揮者で、3年生の時の定期演奏会のメインステージでは、彼が作曲した何曲かを交えた合唱劇であったと記憶しています。その時も結構、良い曲を創っていました。

私も元気に活動していたのですが、勢い余ってつまずいてしまい、精神的にコケてしまい、どうしても気合が入らない時期が続きました。ですから、卒業したあと、そのやり残した感から岐阜混声合唱団にお世話になり、ずいぶん好きなように思いっきりやらせてもらいました。楽しい思い出の時期でもあります。

私のもう一つの学生時代での思いは、フラメンコギターでした。

でも、楽譜を見てもレコードを聴いても、どのように弾いているのかは全然検討もつきません。今のように動画なんてない時代ですから、どのように弾いているのだろうと妄想しながら、独りよがりの我流で楽しんでいました。

50歳過ぎて、大人の音楽教室にフラメンコギター教室ができたことを知り、その時の思いを引きずって、門を叩きました。先生の弾くギターの音色に魅せられて、一生懸命練習しましたが、どうにもならない違和感をもつようになりました。

リズムが難しい、奏法が難しい、ということは最初から覚悟していたの

ですが、フラメンコには楽譜はなく、即興音楽であること、そして歌と踊りの伴奏楽器であることでした。

即興で歌と踊りの伴奏をする、しくじれば歌手や踊り手たちに大変迷惑をかける、素人レベルでは追いつかないというものです。下手なうちからどんどん踊りと合わせる、場数を踏むというのが大事なのでしょうが、ギター教室では難しいことでした。そのうち肩を痛めてしまい、ギターを置くこととなります。

とはいうものの、この文章を書いていて、何となく、素人のくせに頑な過ぎたかなと感じ、再びギターを手を取ってみました。ガチガチの手から始まりましたが、肩は大丈夫でした。

ウィーン岐阜合唱団の皆様

初めましてよろしくお願いたします

岐阜 アルト  
小野木 香代

今年の5月に合唱デビューをしました。私はこの「なんちゃって合唱団」で愛唱歌を3曲歌いました。この「なんちゃって合唱団」は、即席合唱団であります。ですから私が本格的な合唱団で歌を歌うということは前代未聞のことなのです。

練習に参加して3ヶ月が過ぎました。毎週練習してきて、段々歌うことに慣れてきたところです。最初の1ヶ月は、どこを歌うのか見つけるのに精いっぱい。歌うところによりやく楽譜に線を入れことができました。次は音とりです。これは容易ではありません。平光先生の「アルト、音がちがっている人があるね」とやり直しをされる時、「あっ、私だ」と何度首をすくめたかわかりません。ほんと、緊張の1ヶ月でした。

合宿に参加し、歌の流れがわかってきてようやく歌うのって楽しいなという気持ちが出来てきました。練習が始まる前に席の近くの方と話をすることもあり、ウィーン岐阜合唱団にも少しなじんできたところです。

どうぞよろしくお願いたします。

2023.11月3日

# 秋の叙勲を受けるに当たって

岐阜バリトン 白井博育

私は、この度2023年秋の叙勲に於きまして瑞宝双光章を受賞いたしました。わたしにとって思いがけない受賞ですが、半信半疑ながら身に余る光栄であり身の引き締まる思いであります。

この受賞に際して先ずもって長年にわたり私を支えてくれた職場の仲間、妻、そのほか私を叱咤激励してくれた多くの方々はこの紙面をお借りして深くお礼申し上げます。

さて、団ニュースへの投稿依頼があり、引き受けたものの自身の事を何をどの様に書いたらいいのか迷いましたが、少しだけ述べさせていただきます。

11月10日に東京プリンスホテルで伝達式があり鈴木総務大臣の祝辞に引き続いて勲記・勲章の授与があり、その後皇居に参内し天皇陛下に拝謁しお言葉を頂きました。

新聞記者をはじめ多くの方から賛辞を頂く中で、叙勲を受賞された理由は何ですか、という私に対する質問を多く受けました。

私は自分の仕事を振り返って、特に何もやってこなかった思いがありますが、強いて言うなら、40年間郵便局一筋で仕事をして来た事、私の郵便局が所属する

62の郵便局、500人程の職員で構成する西美濃連絡会の副統括の役職を頂き、各局の業務等がスムーズに運営されるように、各局訪問をくり返し激励等を行って来た事、などが評価対象になったのかと感じております。郵便局は現在グループ会社として全国津々浦々に至るまで約24000局、約40万人のネットワークで一体となって業務運行に当たっております。私達の時代もそうでしたが郵便局はどんな山間僻地にもあり、地域を活かし地域の中で生きる、日本のインフラを支える重要な役割を担っております。

このことは今も、これからも変わらず私は現在働いておられる職員の皆さんの奮闘を願い、応援をしていきたいと思っています。

最後に、私事で恐縮ですがこれからも歌、合唱を愛し続け、また長年続けている保護司を通じて微力ですが社会に、人に恩返しを心がけていきたいと考えております。

当面するウィーン岐阜合唱団の12月24日の第九演奏会で、過去直近空白の3年間の思いと今までの練習などで蓄積されたエネルギーが花開き大成功を納め、立派な演奏が来年以降も続く事を祈念して筆を置きたいと思っております。

ありがとうございました。

瑞宝双光章・郵政事業功労  
元日本郵政公社職員



白井博育さん(団長)

幼少期を過ごした大垣市南類町で、大垣南類郵便局長を16年間務めた。正確な業務遂行と丁寧な対応を心がけてきた。受章を「身に余る光栄」と喜ぶ。住民との触れ合いを念頭に時間の許す限り、戸別訪問を繰り返した。地元の行事に参加したり、郵便局便りを独自で発行したりして、地域に根付いた郵便局を目指した。退職後は、アマチュア混声合唱団「ウィーン岐阜合唱団」の団長に就任し、文化活動にも性を出す。「人を受け入れ、人に受け入れられる存在で在りたい」と話す。

大垣市本今町在住

# 12月～2月 練習予定

## 準備が先 声は後

練習開始時間開始 15分前迄には集まりましょう。

平日 (18:30～20:30)		第一日曜日 AM10:00～12:00 以外日曜日 PM14:00～PM16:00
岐阜 (毎回木曜日) 長森コミュニティセンター	大垣 (毎回金曜日) 大垣市南地区センター	各務原 ウィーン岐阜ホール
11月30日 (ぞう列車がやってきた)	12月1日	12月3日 AM10:00～12:00
12月7日 (ぞう列車がやってきた) (第九)	12月8日	12月10日 合同強化練習
12月10日 (日) 合同強化練習 長森コミセン (ぞう列車がやってきた) (第九) PM13:30～16:30		
12月14日 (ぞう列車がやってきた)	12月15日	12月17日 合同強化練習
12月17日 (日) 合同強化練習 長森コミセン (ぞう列車がやってきた) (第九) PM13:30～16:30		
12月21日 (木) オケ合わせ	長森コミセン (ぞう列車がやってきた) (第九) PM18:30～	
12月23日 (土) 総仕上げ 合同練習	長森コミセン	PM14:00～17:30
12月24日 (日) 本番 (定期演奏会) 長良川国際会議場		
1月11日 長森コミセン	1月12日 大垣市南地区センター	1月7日 AM10:00～12:00
1月18日 長森コミセン	1月19日 大垣市南地区センター	1月14日 PM14:00～16:00
1月25日 長森コミセン	1月26日 大垣市南地区センター	1月21日 PM14:00～16:00
2月1日 長森コミセン	2月2日 大垣市南地区センター	1月28日 PM14:00～16:00
2月8日 長森コミセン	2月9日 大垣市南地区センター	2月4日 AM10:00～12:00
2月15日 長森コミセン	2月16日 大垣市南地区センター	2月11日 PM14:00～16:00
2月22日 長森コミセン	2月23日 大垣市南地区センター	2月18日 PM14:00～16:00
2月29日 長森コミセン		2月25日 PM14:00～16:00

◎定期演奏会終了まで (第九・ソウ列車) の楽譜は常時持参ください

令和6年1月より8月25日の定期演奏会にむけて  
ハレルヤ (ハンデル)、アヴェ・ヴェルム・コルプス (モーツァルト)、スターバード・マーテル (ベルコレージ) の  
練習が始まります。新たな気持ちで、1月から一緒に頑張りましょう

合唱団新聞に関しましては、下記の広報委員までご連絡下さい。

高橋なお子 E-mail:wien.chorus2021@gmail.com 携帯 090-9933-0374 FAX058-294-6114

白木 政春 E-mail:printshiraki@yahoo.co.jp 携帯 090-9924-6137 FAX058-231-4721